

科目名	ミュージカル表現法 I	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	神戸 珠利	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

ミュージカルの三大要素の一つであるダンスの基礎を学びます。ストーリーの流れの中で様々な役を演じるにあたり、身体のためのダンステクニックだけでなく、小道具の美しい扱い方、ミュージカル、オペラ、バレエで良く使われる様々なジャンルの曲に合わせたステップの知識も深め、より完成度の高いダンサーを目指します。

舞台人としての挨拶、マナー、リハーサルから本番までの流れなども習得します。

＝履修の条件と学習の方法＝

身体を動かすことが主になるため、動きやすい服装で受けること。

日常生活から怪我などに注意すること。また、授業は毎回ウォーミングアップから始めるので、故障しないために時間を厳守すること。

授業時間外にもできるだけミュージカル、ダンスなどの作品に積極的に触れる時間をもつこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 「正しいウォーミングアップ1」フロアで柔軟を行う上での正しい身体のほぐし方、筋肉の鍛え方。
- 3回 「正しいウォーミングアップ2」身体の各部位、首、肩、腰、膝、足首の使い方
- 4回 「ダンステクニック1」（ステップ）ステップを踏むうえでのバランスの移動の仕方、美しいポーズのとり方
- 5回 「ダンステクニック2」（ターン）回転するうえでの身体の軸のとり方、スポットのつけ方
- 6回 「ダンステクニック3」（ジャンプ）より高く、より美しく飛ぶためのタイミングのとり方
- 7回 「ワルツ1」ドレス着用時の立ち居振る舞い、エスコートの仕方、され方、扇の扱い
- 8回 「ワルツ2」ワルツステップの踊り方
- 9回 「スウィングジャズ1」スウィングジャズの主なステップ
- 10回 「スウィングジャズ2」スウィングジャズで振付
- 11回 「スウィングジャズ3」スウィングジャズで振付（前回の続き）
- 12回 「ラテンダンス1」ラテンの主なステップ
- 13回 「ラテンダンス2」ラテン音楽で振付
- 14回 「その他のステップ」チャールストン、マズルカ、サンバなど
- 15回 「総まとめ」7回～14回までの総復習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席率 50%、授業開始日から終了日までの個々の上達の度合を見込んだ上で、最終日の仕上がり、学んだテクニック、授業内で学んだステップの特徴がきちんと習得されているかどうかを 50%とし評価します。

＝テキスト（必携）＝

特になし